

「小田急グループ カーボンニュートラル2050」と その取り組みについて

2023年6月2日
はだの脱炭素コンソーシアム

小田急電鉄株式会社

1. 「小田急グループ カーボンニュートラル2050」について

UPDATE 小田急

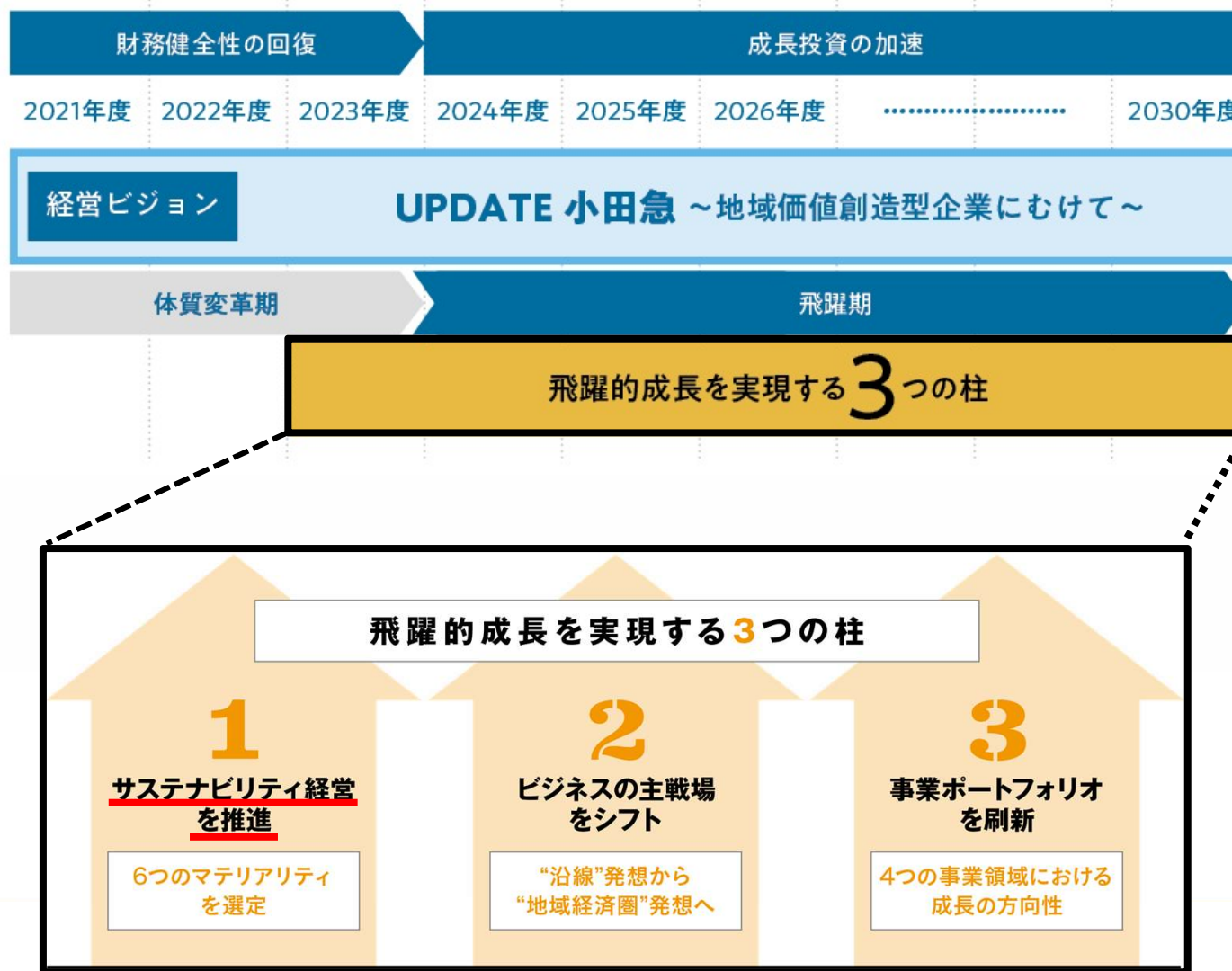
～地域価値創造型企業にむけて～

私たちは、小田急沿線や事業を展開する
地域とともに成長するために、
既成概念に捉われず常に挑戦を続けることで、
お客さまの**体験や環境負荷の低減**など
地域に新しい価値を創造していく企業に進化します。

全体方針



2023年度までを体質変革期、2024～2030年度までを飛躍期とし、飛躍期では未来の小田急の持続的な成長につながる事業創造や拡大を進め、地域価値創造型企業として新たな価値を生み出していく



サステナビリティ経営の推進に向けたマテリアリティ(重要テーマ)



マテリアリティ	向き合う主な社会課題
01 安全・安心 <ul style="list-style-type: none">安全・安心を最優先した公共交通サービスの提供誰もが安心して暮らせる社会の追求	<ul style="list-style-type: none">公共交通の安全・安心バリアフリーな社会サイバー犯罪、自然災害
02 まちづくり・地域社会 <ul style="list-style-type: none">職,住,商,学・遊、ウェルネスを兼ねそなえたまちづくりの実現地域資源を活かしたまちの発展	<ul style="list-style-type: none">少子高齢化地域社会の活力低下都市・地域間競争の激化技術革新
03 日々の暮らしと観光体験 <ul style="list-style-type: none">テクノロジーを活用したゆたかなライフスタイルの推進その地域ならではの観光体験の提供	<ul style="list-style-type: none">ライフスタイルの多様化交通弱者の増加技術革新オーバーツーリズム、インバウンド
04 環境 (カーボンニュートラル) <ul style="list-style-type: none">省エネ、再エネ、電動化、地域との連携による脱炭素社会の実現「Beyond Waste」を目指した資源循環社会の実現	<ul style="list-style-type: none">気候変動への対応 (地域の脱炭素・資源循環)環境負荷の低い公共交通へのシフト森、里、川、海の保全
05 価値創造型人材の育成 <ul style="list-style-type: none">すべての社員が自分らしく働ける企業風土の醸成持続可能な経営を実現するための人材育成	<ul style="list-style-type: none">ダイバーシティ&インクルージョン人手不足働き方の多様化
06 ガバナンス <ul style="list-style-type: none">すべてのステークホルダーの期待に応える最適なガバナンス体制の実現	<ul style="list-style-type: none">非財務情報の開示持続可能な企業経営

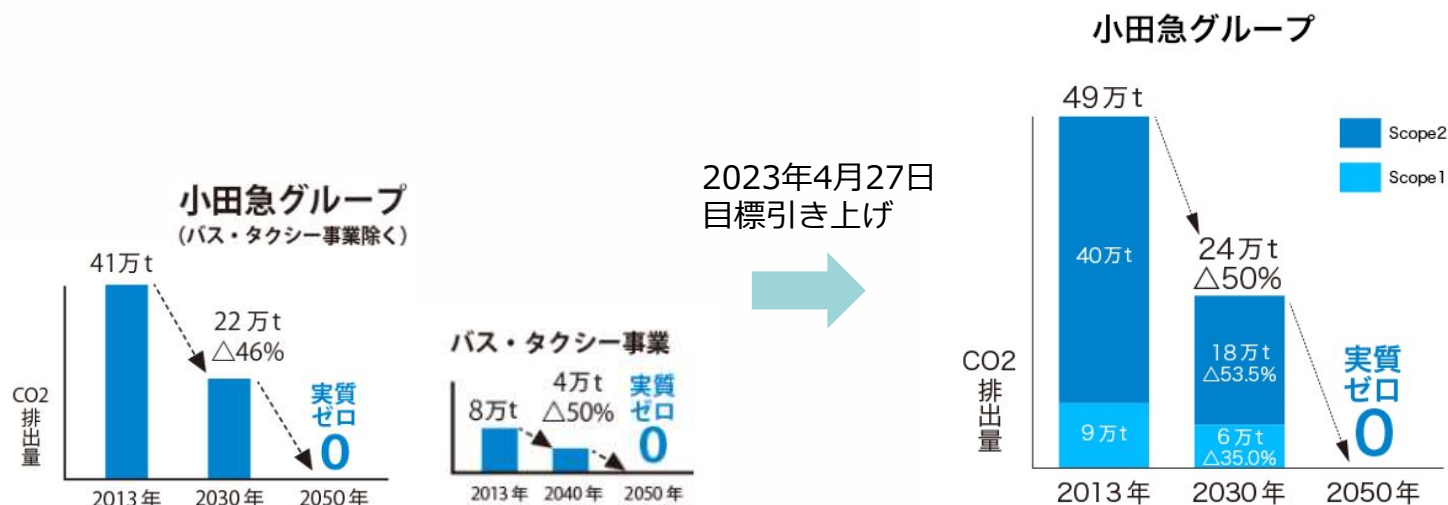
「小田急グループ カーボンニュートラル2050」



環境ビジョン

小田急グループは美しい地球環境と優しい社会を未来の世代に引き継ぐことを使命とし、事業活動を通じてCO2排出削減や資源循環、自然資源の保全・活用などの環境課題に積極的に取り組みます。

環境長期目標



環境戦略

UPDATE 1	脱炭素社会の実現	Action 1 小田急グループのCO2排出量を実質「0」へ Action 2 脱炭素社会に向けた地域課題の解決 Action 3 環境にやさしい公共交通へのシフト
UPDATE 2	資源循環社会の実現	Action 1 小田急グループの5R推進 Action 2 資源循環社会に向けた地域課題の解決
UPDATE 3	自然保全と活用	Action 1 森・里・川・海の保全 Action 2 自然資源の活用

Action: 気候変動問題としてリスク / 成長戦略としての機会

UPDATE 1 脱炭素社会の実現

CarbonNeutral

Action 1

小田急グループのCO2排出量を実質「0」へ



意思決定への環境項目付加 | 従業員教育

Action 2

脱炭素社会に向けた地域課題の解決



再エネ売電 | 地域再エネ循環

Action 3

環境にやさしい公共交通へのシフト



MaaS



環境負荷の少なさを
プロモーション

UPDATE 2 資源循環社会の実現

Circular City

Action 1

小田急グループの5R推進

Action 2

資源循環社会に向けた
地域課題の解決

Action 1

森・里・川・海の保全



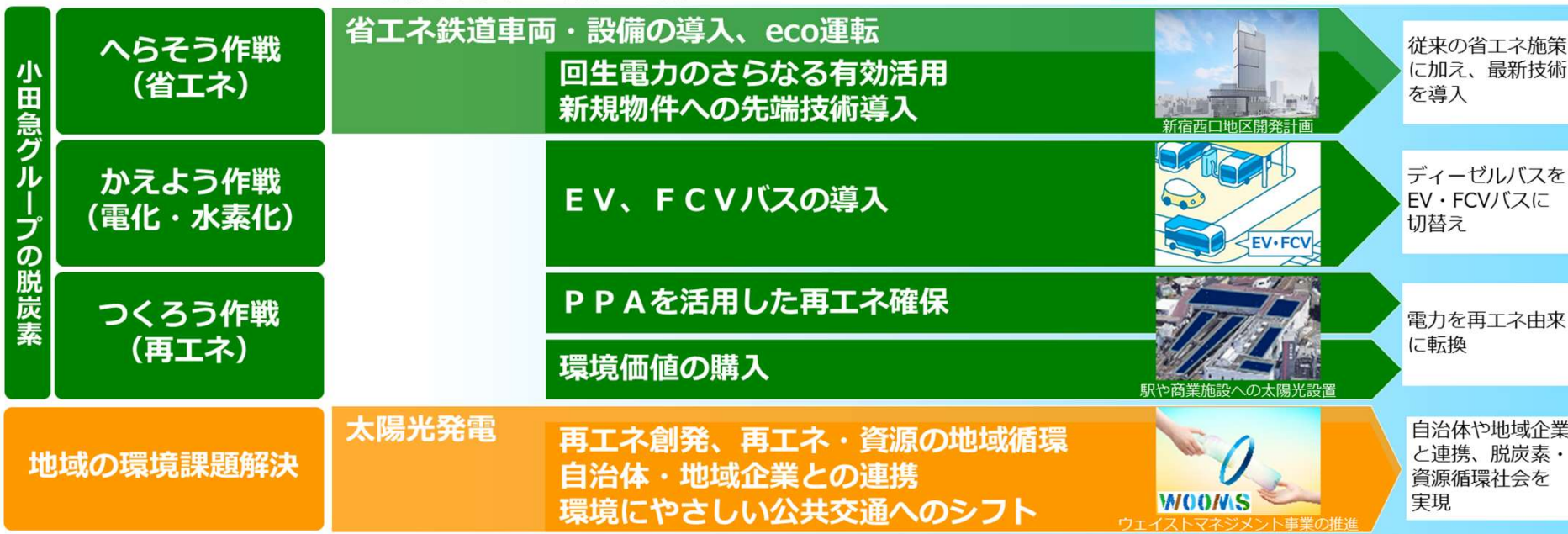
Action 2

自然資源の活用

UPDATE 3 自然保全と活用

With Nature

「小田急グループ カーボンニュートラル2050」 実現に向けたロードマップ



2. 当社の取り組み事例

ゼロカーボンロマンスカー



2022年4月1日より東京都のC&T制度を活用し、ロマンスカー全編成をCO2排出量実質0として運行しています。

※2027年9月30日まで

○ C&T制度とは

対象事業所におけるCO2排出量の総量が一定の基準以下まで削減できていた場合、基準を下回った分の削減枠を他の事業の削減枠として利用できる制度です。



太陽光パネルの導入

小田急電鉄では、沿線の駅や商業施設の屋根に太陽光を導入しCO2の削減に取り組んでおります。



今後、海老名地区にも導入予定

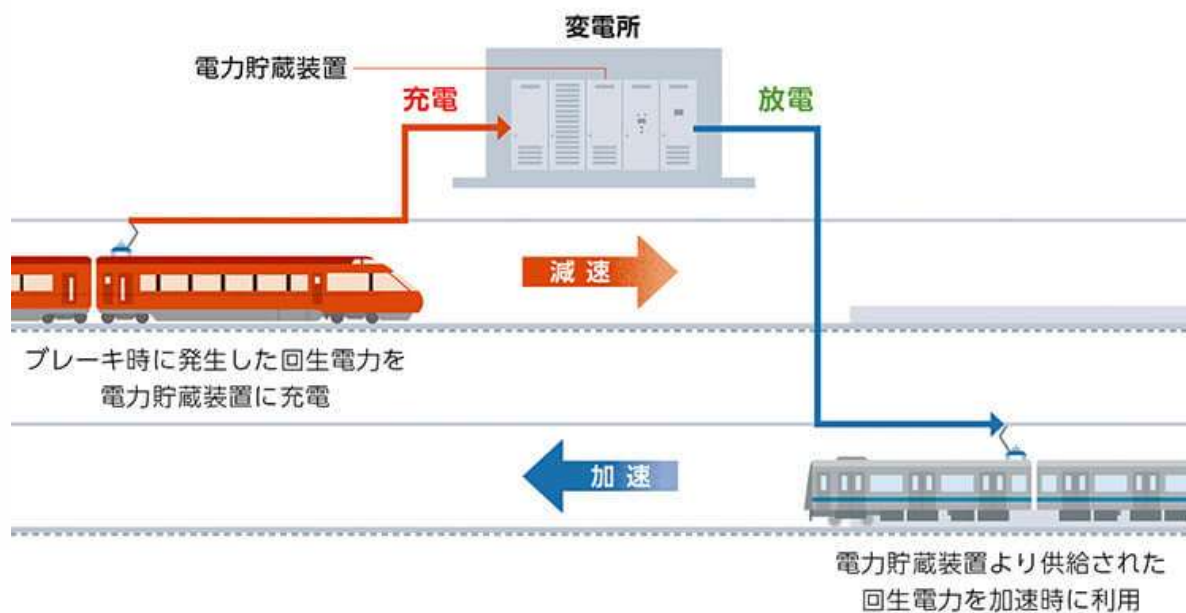
当社HPより：http://www.odakyu.jp/csr/environment_energy/

一カ所の出力は、5～50kW程度

回生電力の活用

電車がブレーキをかけたとき、発電し生まれる回生電力を、他電車の運転用のエネルギーとして利用をしております。

一部区間では、回生電力を変電所に設置した蓄電池に貯蔵し、より効率的に回生電力の活用を実施しております。

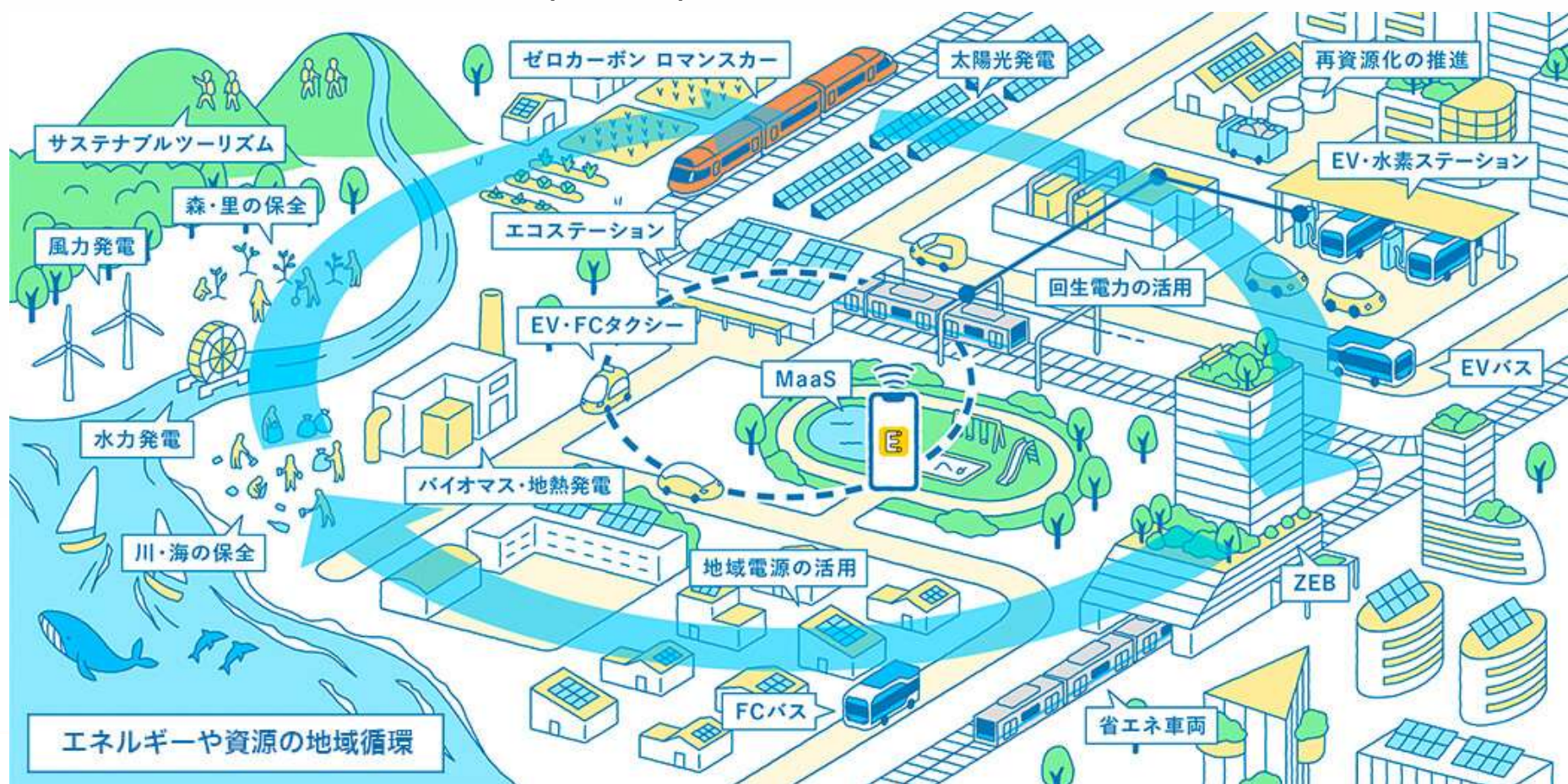


上原変電所 回生電力貯蔵装置

最後に

小田急グループは、これらの取り組みを通じて、地域価値創造型企業として、地域と共に脱炭素社会の実現に向けて積極的に取り組んでまいります。

小田急グループがめざす2050年の社会(イメージ)



ご清聴ありがとうございました